Ⅱ－２　アメニティづくりに関する県民の意識と活動

(1) 意識調査

昭和６２年度に実施された「望ましい環境に関する意識調査」の概要は、次の通りです。

１）調査の概要

実施期間	： 昭和62年３月～４月	抽出方法	： 層化２段無作為抽出方法
対象地域	： 県下全域	調査方法	： 郵送法
対象者	： 満20才以上の男女 900名	回収数	： 600名（回収率 67%）

２）住まいの周辺環境に関する満足度

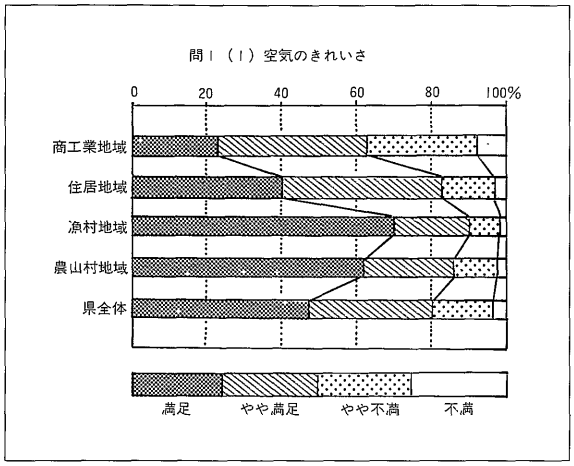
【すがすがしさと静けさ】 ――― 県全体での満足度は約80%であり、すがすがしさと静けさに対する意識としては概ね満足していると考えられます。地域別では、漁村や農山村地域の満足度が約90%であるのに対して、商工業地域では約60%と低い状況です。

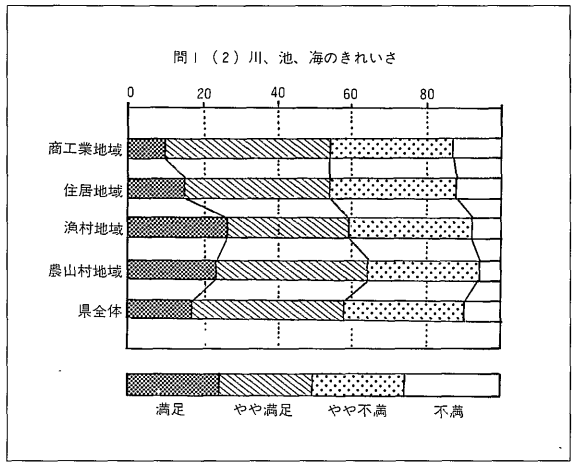
【自然とのふれあい】 ――― 県全体での満足度は約80%であり、自然とのふれあいに対する意識としては概ね満足していると考えられます。地域別では、漁村や農山村地域の満足度が約90%以上であるのに対して、商工業や住居地域では約70%となっています。

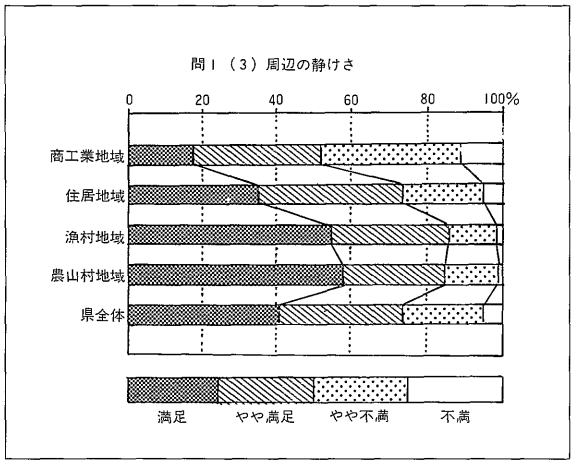
【美しさとゆとり】 ――― 県全体での満足度は60%未満となっており、上記２項目と比べると満足度は低い結果となっています。地域別では、農山村地域が約70%で最も高く、逆に商工業地域では約40%と低く、格差が大きくなっています。

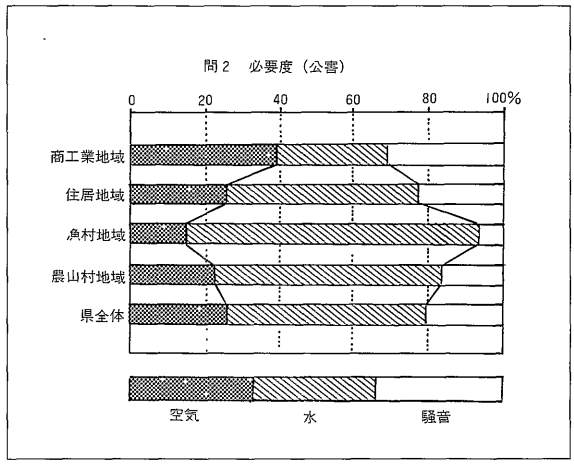
【環境全般】 ――― 県全体での満足度は約80%となっているものの、『やや満足』と答えた人が60%以上を占めています。地域別では漁村や農山村地域における満足度が商工業や住居地域の満足度より少し下まわっていますが、これは利便面に対する不満さによると考えられます。

【満足度:「満足」あるいは「やや満足」と答えた人の占める比率】









【すがすがしさと静けさ】

◆　空気のきれいさ

- 県全体での満足度は約80％となっており、空気のきれいさに対する意識としては概ね満足していると考えられます。
- 地域別では、漁村地域の満足度が90％余りで最も高く、また商工業地域は60％ほどで格差が著しくなっています。

◆　川、池、海のきれいさ

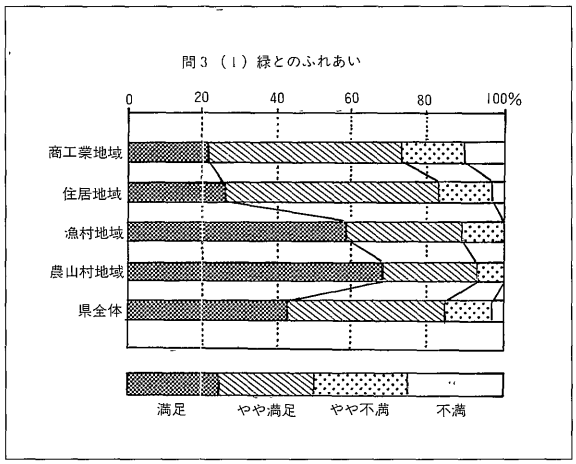
- 県全体での満足度は約60％であり、他の要素と比べるとかなり低いものとなっています。
- 地域別の満足度では、それほどの格差は生じていません。

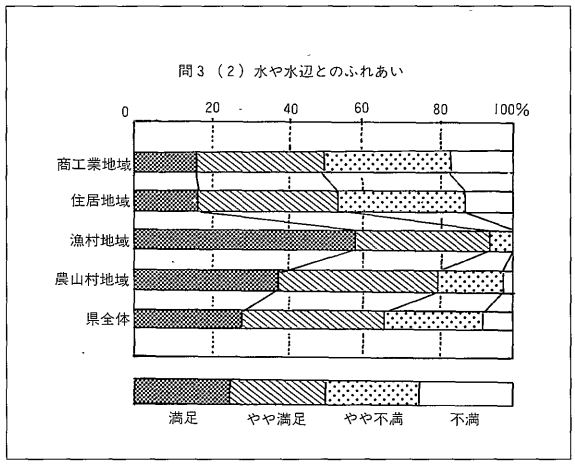
◆　周辺の静けさ

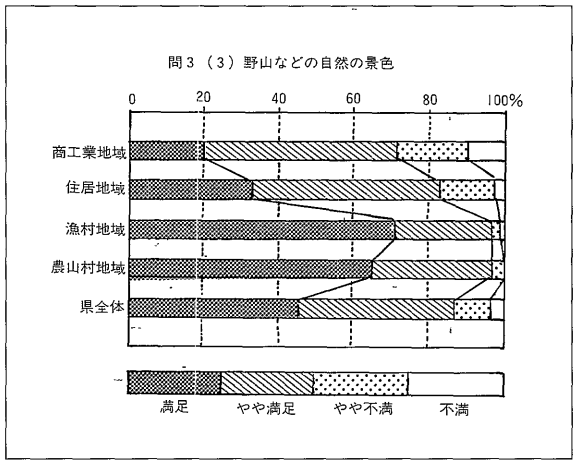
- 県全体での満足度は約80％であり、周辺の静けさに対する意識としては満足していると考えられます。
- しかし、地域別でみると商工業地域における満足度は50％程度であり、約半数の人が不満を感じている状況です。

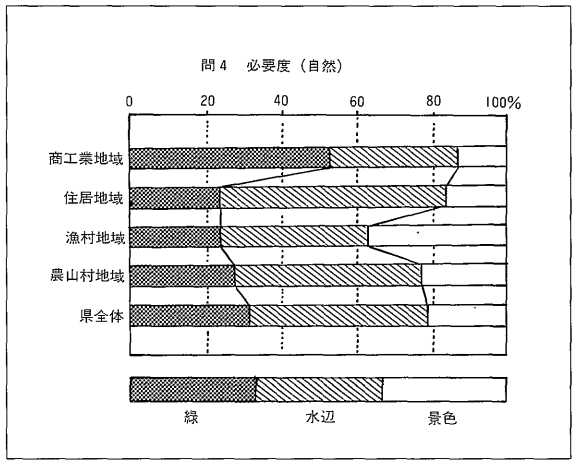
◆　必要度

- 商工業地域では『空気のきれいさ』に対する必要度が最も高くなっていますが、他の地域では『川、池、海のきれいさ』が60％以上を占めています。









【自然とのふれあい】

◆　緑とのふれあい

- 県全体での満足度は約80％程度であり、緑とのふれあいにおいては概ね満たされていると考えられます。
- 地域別では、特に商工業や住居地域では『満足』と答えた人が20％程度と低く、緑とのふれあいが少ないことがうかがえます。

◆　水や水辺とのふれあい

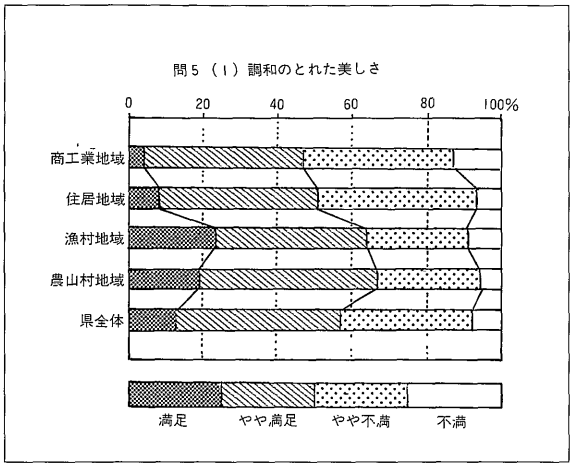
- 県全体での満足度は70％程度であり、他の項目の満足度と比べるとかなり低いものとなっています。
- 特に、商工業や住居地域における満足度は50％程度であり、また商工業地域では『不満』と答えた人が20％近くを占めています。

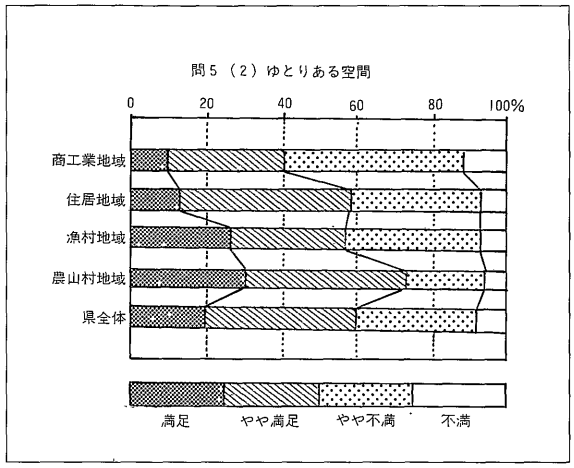
◆　野山などの自然の景色

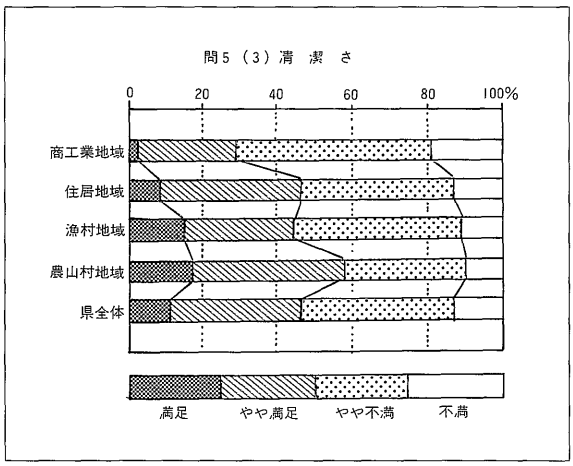
- 県全体での満足度は90％近くを占めており、野山などの自然の景色については概ね満たされていると考えられます。

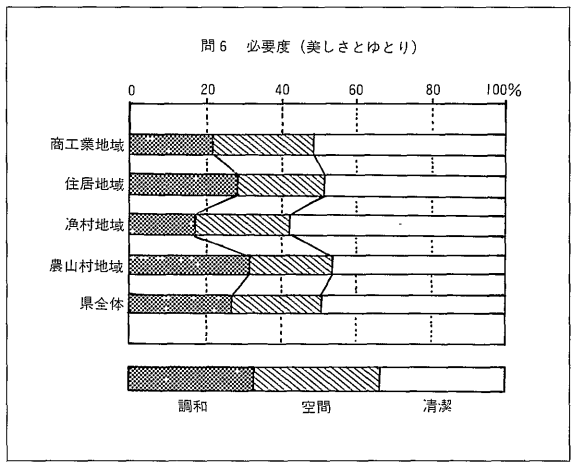
◆　必要度

- 商工業地域では『緑とのふれあい』が50％以上を占めているものの、その他の地域では『水や水辺とのふれあい』が最も高くなっています。









【美しさとゆとり】

◆ 調和のとれた美しさ

● 県全体での満足度は60%未満となっており、建築物の統一性の欠如や乱雑な看板などに不満を持っている人が多いようです。

◆ ゆとりのある空間

● 県全体での満足度は約60%となっており、地域別では農山村地域が約70%であるのに対して、商工業地域で約40%と低く、格差が著しくなっています。

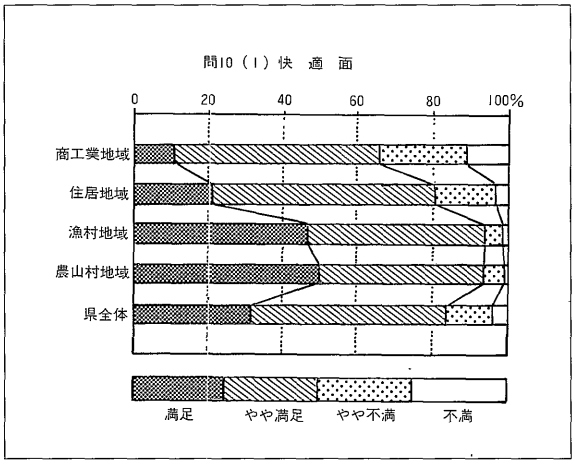
◆ 清　潔　さ

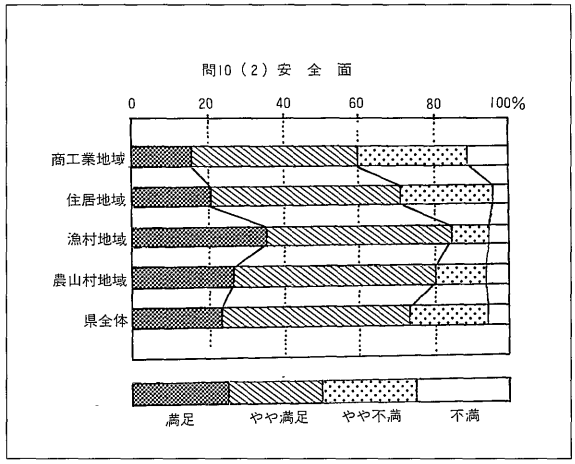
● 県全体での満足度は50%未満であり、他の項目と比べると最も低くなっています。

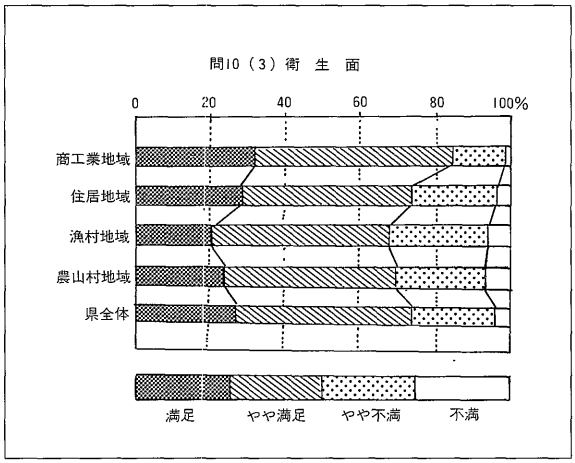
● 地域別では農山村地域が約60%で最も高いが、商工業地域では30%未満となっており、格差が著しくなっています。

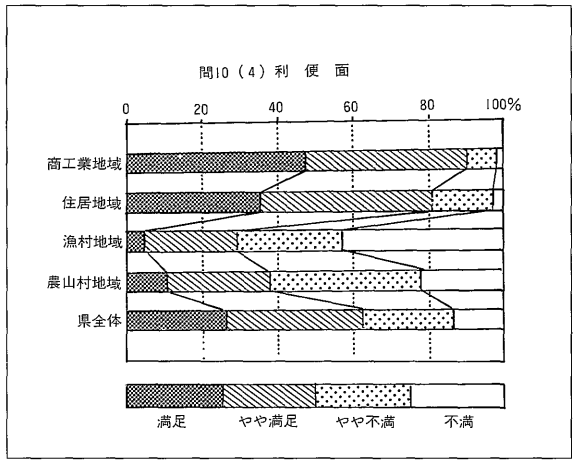
◆ 必要度

● いずれの地域においても『清潔さ』が占める比率が最も高く、特に漁村地域においては60%近くを占めています。









【環境全般】

◆ 快　適　性

●快適性に対する満足度は全般的に高く、県全体で80%以上であり、地域別では漁村や農山村地域が90%以上、商工業や住居地域でも約70%となっています。

◆ 安　全　面

●県全体での満足度は約70%であり、快適面での満足度と比べると少し下回るものの、安全面についても概ね満たされていると考えられます。

◆ 衛　生　面

●県全体での満足度は約70%であり、衛生面についても概ね満たされていると考えられます。

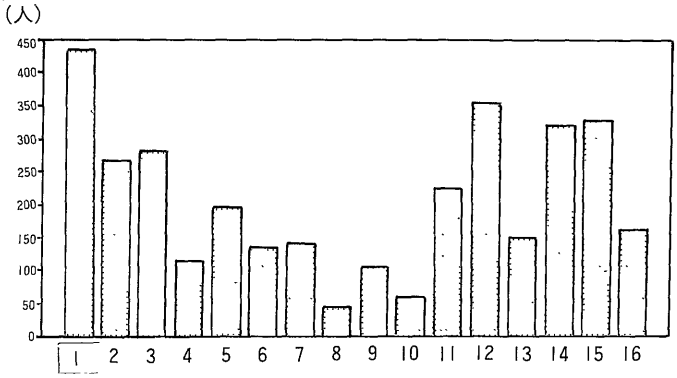
●地域別では商工業地域が80%以上と最も高く、漁村や農山村地域では70%未満となっています。

◆ 利　便　面

●県全体での満足度は約60%であり、他の項目と比べると低い状況です。

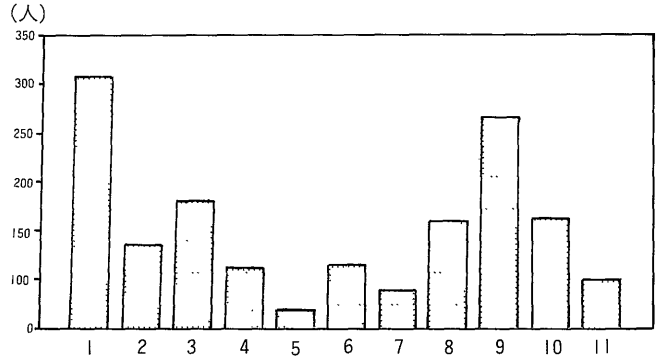
●地域別では、商工業や住居地域では80%以上と高い満足度を示しているのに対して、漁村地域が約30%、農山村地域が約40%と低い状況です。

3）住まいの周辺で残しておきたいもの（いくつでも選択）



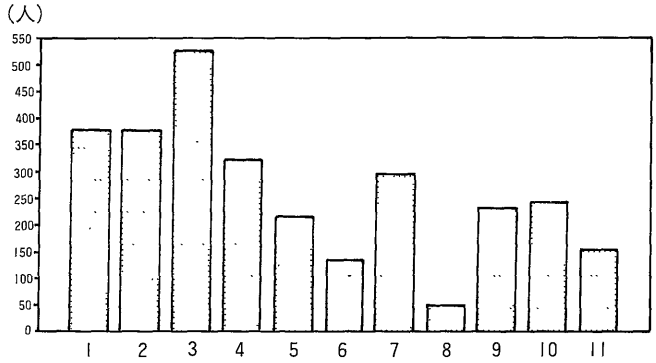
1　自然の緑　2　公園や広場　3　神社、お寺、教会　4　街路樹　5　庭や生け垣の緑
6　河川敷や堤防　7　小川　8　池や沼　9　海辺　10　まち並み
11　のびのびと歩ける道　12　自然の景色　13　遺跡や史跡　14　まつりや伝統行事
15　こまやかな人情　16　親しみのある町名や通りの名まえ

4）住まいの周辺であったらよいと思うもの（いくつでも選択）



1　公園や広場　2　神社やお寺の緑　3　街路樹　4　庭や生け垣　5　河川敷や堤防
6　小川や池　7　親しめる海辺　8　美しいまち並み　9　のびのびと歩ける道
10　まつりなどのふるさとの行事　11　親しみのある町名や通りの名まえ

5）住まいの周辺で行われる活動で、参加したり協力したりしようと思うもの（いくつでも選択）



1　近所迷惑になるような騒音は出さない
2　公園、川等の清掃作業等に参加する
3　ゴミ、空き缶等の投げ捨てなどをしない
4　自宅の周囲に花や木を植える
5　合成洗剤やリンを含む洗剤は、なるべく使わない
6　塀や外壁をつくる際に周囲との調和を考える
7　流しに水切りなどをつけて調理くずを流さない
8　街路樹の世話をする
9　スパイクタイヤをなるべく使用しない
10　空き缶の投げ捨てなど環境を汚すような行為をしている人をみかけたら注意をする
11　自然を守るなど環境を良くするための募金に協力する

(2) 地域活動

アメニティづくりは、子供から高齢者まで、県民一人ひとりが、郷土に誇りと愛着を持って、住み心地の良い環境やうるおいとやすらぎに満ちたまちやむらを創造していくことが必要です。そして、このようなアメニティづくりの主要な担い手は住民と地方公共団体であり、とりわけその地域で生活を営む住民自らが果たすべき役割は大きいと考えられます。

これまでにも、町内会や公民館を単位とした公園や河川の清掃活動が行われており、環境美化に対する意識や活動への参加と協力の意識が高まりつつあります。

近年においては、各地域におけるフラワーロードづくりや福井市高木町にみられる連続した生け垣づくりなどの緑化活動、福井宝さがし運動や越前勝山探検隊などのわがまち再発見運動、さらに、これら運動の成果によるまちづくりの推進活動など、地域住民の豊かな発想による積極的な活動が展開されており、住民主体のアメニティづくりの輪がひろがっています。

このように、県内各地で環境創造、環境美化活動が展開されていますが、全県的な規模と組織で行われているものとしては、以下のようなものがあげられます。

- 環境週間における〝県民総ぐるみ空き缶回収運動〟
- 伸びゆく県民運動推進協議会による地域活動
- 生活雑排水浄化推進運動
- 福井デザインフォーラム推進協議会による〝福井宝さがし運動〟

アメニティ・トピックス

〈住みたくなる町3600運動〉

伸びゆく福井県民運動推進協議会では、『学びあい　ふれあい　創ろう　わがまちを』をスローガンとして、福井県下3600区・町内を対象とした、住みたくなる町3600運動を推進しています。これは、昭和62年度から平成６年度を事業期間として、360区・町内のモデル地区を設定し、それぞれの活動に対して助成および情報提供等に努めるもので、指定された区・町内では、学習会をはじめ、交通安全運動や体力づくり、環境美化活動や文化活動が展開されています。

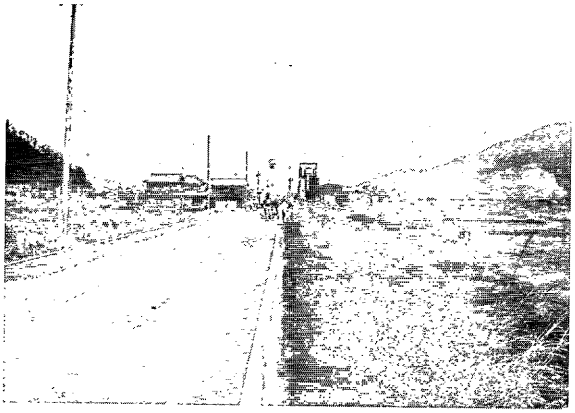
〈福井宝さがし運動〉

福井デザインフォーラム推進協議会では「県民が誇りを持って生活設計できる福井の創造」を推進することにより、産官学住の行動ベクトルを一つの方向に向け、人的パワーの結集を図り、地域の活性化を図るという背景のもとに、その第一歩として、平成元年度「宝さがし運動」を起こしました。宝さがしとは、福井県が持ち続けてきたいろいろなことをもう一度身近なところから意識し、発掘し、県民一人ひとりが『誇り』を持つことを目的としています。

〈「公徳心の町」宣言〉

観光立地をめざす高浜町は、心の面でも観光客受入れの条件整備を、住民運動として盛り上げようと平成２年３月「公徳心を高める都市宣言」を行いました。心の問題を取りあげた都市宣言は全国的にもユニークな試みです。

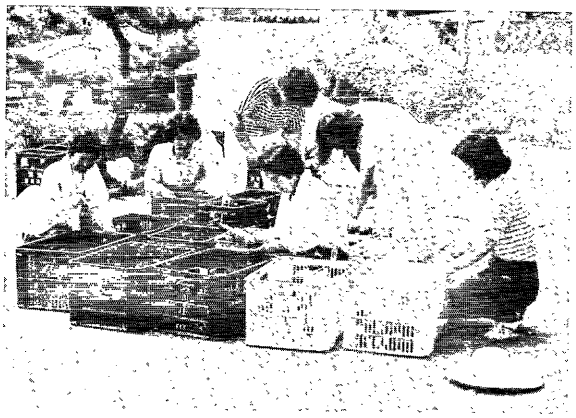
宣言文は、高浜町を「美しい自然と地域の和と人の心を大切にした人間性ゆたかな町にしたい」として、町民の共有財産である郷土を〝公徳心を高める都市〟に築きあげることを町民の名において宣言するとうたっています。



道路美化活動（南条町）



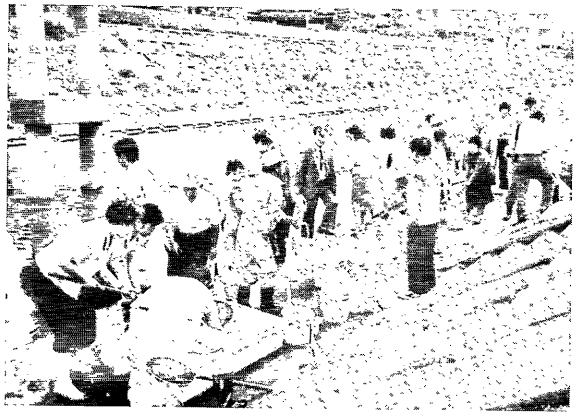
海岸美化（高浜町）



リサイクル運動（鯖江市）



緑の少年隊による緑化活動（宮崎村）



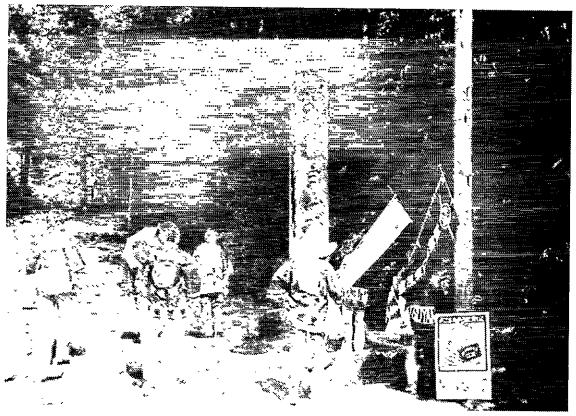
ニシキゴイの放流（福井市）



河川美化活動（坂井町）



まちの再発見運動（県内全域）



まちの再発見運動（勝山市）